

「ピースおおさか戦争証言 2024」を編集制作しました。

大阪府が2009年度に「平和情報収集・発信事業」として制作した証言映像DVD・ビデオ「大阪大空襲」のマスターデータをもとに、大阪大空襲に関する3人の証言映像を新たに編集制作しました。

これらの映像を収録したDVDは2025年6月より、団体向け資料貸出を開始しています。また、終戦の日である8月15日に、YouTubeで公開しました。

ピースおおさかでは団体見学とあわせて、戦争体験証言などの映像を講堂で視聴することができます。事前の予約が必要となりますので、見学予約時にご相談ください。

今回編集制作した映像一覧

- ・家族を失った大阪空襲
- ・軍国少女が見た戦争
- ・女学生が経験した堺空襲

大阪空襲死没者名簿について

第2次世界大戦末期、50回を超える空襲により、大阪では約1万5,000人の犠牲者が出たといわれています。

ピースおおさかでは「大阪空襲死没者名簿」を保管しており、館内に設置している検索システムで、名簿情報（非公開分を除く氏名・年齢・性別）を閲覧することができるほか、中庭には、大阪空襲死没者を追悼し平和を祈念する場「刻の庭」も存在します。

2025年3月末時点で判明している大阪空襲死没者は9,159名です。ピースおおさかでは、名簿の追加申請なども随時受け付けています。

大阪空襲で亡くなられた方にお心当たりがある場合は、ピースおおさかまでお問い合わせください。



平和寄金へ ご寄附のお願い

大阪空襲死没者を追悼し平和を祈念する場「刻の庭」の整備・維持、当館で開催している特別展や企画事業などは、寄附金(平和寄金)をもとに実施しています。戦争の悲惨さ・平和の尊さを次の世代へしっかり引き継いでいくため、平和寄金にご寄附をお願いいたします。

銀行振込※	寄附申込書を振込手続きの前に当財団事務局へ郵送またはFAXをしてください
送 金	当財団事務局へ送金いただく際、寄附申込書を同封してください
持 参	寄附申込書を当財団事務局へ持参ください (なお、持参日を事前にお知らせください)

※寄附金は「寄附金控除」の対象になり、税の優遇措置が受けられます。
※銀行への振込口座につきましては、ピースおおさかまでお問い合わせください。
※寄附申込書は当館またはホームページからダウンロードして取得できます。

<平和寄金へご寄贈いただいた皆様>

吉本謙二、多田庸子、鷺見久美、青山勇夫、中井満、河内現代レイキの会、中岡義雄、佐治るみ子、奥敏史
(匿名ご希望の方を除く)
(2025年1月～12月の間に1万円以上ご寄附の方。敬称省略)
ご寄附いただきました皆様に深く感謝申し上げます。

ピースおおさか友の会 会員募集のご案内

会員特典	◇1年間無料で入館でき、常設展示や特別展示などを自由にご覧になれます。 講演会・特別展示などの催し案内や館報「ピースおおさか」を送付します。
会 費	◇個人会員 年額2千円 ◇団体会員 年額1万円(1口) ※何口でも結構です。
申込方法	◇直接、事務局へ会費を添えて申込、若しくは現金書留で郵送 ◇銀行振込(りそな銀行、三井住友銀行) ◇郵便局振込

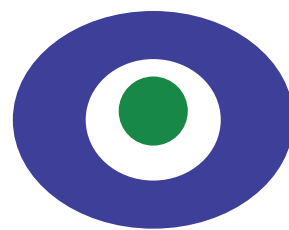
ピースおおさか ご利用あんない

- 団体見学の見学申込受付
- 戦争と平和に関する展示・映画上映
- DVDやパネルなどの団体向け資料貸出

<問い合わせ先>

ピースおおさか(公益財団法人 大阪国際平和センター)

〒540-0002 大阪市中央区大阪城2番1号
TEL. 06-6947-7208 FAX. 06-6943-6080
ホームページ <https://www.peace-osaka.or.jp>



このマークは、宇宙・地球・大阪を示し、
平和が大阪から発信されることをシンボライズしたものです。

大阪空襲を語り継ぐ 平和ミュージアム

ピースおおさか
OSAKA INTERNATIONAL PEACE CENTER

編集・発行 / 公益財団法人 大阪国際平和センター TEL.06(6947)7208 FAX.06(6943)6080
〒540-0002 大阪市中央区大阪城2番1号 ホームページ <https://www.peace-osaka.or.jp>

2026
(令和8) 1/29
No.53

大空襲80年特別企画を開催！ 特別展「大阪空襲 ～80年前の記憶～」

期 間:2025(令和7)年3月1日(土)～7月13日(日)

参加者:22,619名

大阪は、1944年12月から終戦前日の8月14日まで、8回の大空襲を含む50回以上の空襲を受けました。

戦後80年、そして大阪空襲から80年となる本特別展では、1945年3月の大空襲、6月の大空襲、模擬原爆などテーマ別に、当時の体験者の証言を紹介し、その証言に関係した体験画を展示しました。

証言と体験画を合わせて見ることで、空襲の凄まじさがより深く伝わり、風化させてはならない戦争の記憶を思い起こさせるとともに、戦争の悲惨さと平和の尊さについて今一度考える機会となりました。



大阪大空襲平和祈念事業

講演会「大阪が燃えた夜から80年 ＝米軍資料が明かす大空襲の真相＝」

日 時:2025(令和7)年3月9日(日) 午後2時～3時15分

参加者:145名

特別展「大阪空襲 ～80年前の記憶～」関連イベントとして、元全国紙記者の松本泉氏による講演会を開催しました。松本氏はこれまでの取材や調査で得た情報をもとに、米軍による大阪空襲の計画や実態について様々な視点から解説されました。

また戦後80年が経ち、当時を直接知る戦争体験者が年々少なくなっていく中、次世代にどのように戦争を伝えるか、戦争記憶の継承について見解をいただきました。



戦後80年 終戦の日平和祈念事業

「戦争犠牲者追悼式と平和コンサート」

日 時:2025(令和7)年8月15日(金) 午後2時～3時20分

協 力:学校法人 相愛学園

参加者:145名

毎年8月15日に開催される本事業では、相愛学園の協力による平和コンサートと「刻の庭」で菊一輪の献花を行っています。

相愛大学音楽部生の皆さんによる金管十重奏と相愛中学校音楽科進学コース・高等学校音楽科の生徒の皆さんによる合唱では、美しい音色や歌声が会場に響き渡りました。

戦争で亡くなられた方々への追悼の献花を行うとともに、参加者一人ひとりが平和な世界へ向けて思いを馳せる一日になりました。



トピックス

●新館長就任

2025年6月26日付けで、森久子为新館長(業務執行理事兼務)に就任いたしました。

●(学校向け)平和学習デジタルコンテンツ

「戦争と人々の暮らし」に新機能を追加しました。文化庁Innovate MUSEUM事業で制作した平和学習デジタルコンテンツ「戦争と人々の暮らし」は、学校における平和学習の授業で利用することができるデジタルコンテンツです。2025年度より、コンテンツ内でのまとめ学習として、「平和新聞」を作ることができる機能などを追加しました。

新グッズ 紹介

ピースおおさかオリジナルグッズ ミュージアムショップにて販売中!!

Tシャツ(ワンポイント)(フロントプリント)



「ピースバード」が特徴のシンプルなワンポイントTシャツと、水色の「ピースバード」とシンボルマークがオシャレなフロントプリントTシャツの2種類を制作しました。

サイズ:M、Lサイズ 価格:1,800円(税込)

今治タオルブランドオリジナルタオルハンカチ

「ピースバード」を刺繍したタオル。既存のホワイト、ベージュに加え、新色にグリーンとチャコールを追加しました。

サイズ:20×20cm

価格:600円(税込)



ピースおおさか 2025(令和7)年1月から12月までの主な事業

被爆・戦後80年特別企画 特別展

「ヒロシマ・ナガサキ原爆・平和展」

期 間:2025(令和7)年8月22日(金)～12月27日(土)

主 催:広島市、長崎市、公益財団法人 大阪国際平和センター 参加者:33,593名



1945年8月6日 広島、8月9日 長崎。それぞれに一発の原子爆弾が落とされ、その年の暮れまでに広島で約14万人、長崎で約7万人が亡くなり、現在も多くの人々が放射線の後障害に苦しんでいます。

特別展では、広島平和記念資料館と長崎原爆資料館が所蔵している写真や体験画、実物資料などを展示し、被爆の実相を伝えました。

また、特別展示室の一角に折り鶴を作るコーナーと平和へのメッセージ作成コーナーを設け、期間中、来館者の皆様から平和への想いを込めた多くの折り鶴やメッセージが集まりました。

開催初日には、オープニングセレモニーを実施し、主催者として松井一實広島市長と柴原慎一長崎市副市長、来賓として吉村洋文大阪府知事と横山英幸大阪市長にご出席いただき、テープカットが行われました。

開館の日平和祈念事業 被爆・戦後80年特別企画

「ヒロシマ・ナガサキ被爆体験証言会」

日 時:2025(令和7)年9月14日(日) 午後2時～4時

主 催:広島市、長崎市、公益財団法人 大阪国際平和センター 参加者:138名

特別展「ヒロシマ・ナガサキ原爆・平和展」関連イベントとして、広島から才木幹夫さん、長崎から八木道子さんをお招きして、被爆体験証言会を実施しました。

才木さんは1945年8月6日、爆心地から2.2km離れた自宅で被爆しました。大やけどを負った被爆者に水をあげたことなど、ご自身の体験に加え、家族のことや近くに住んでいた友人のこともお話しいただきました。

八木さんは1945年8月9日、爆心地から3.3km離れた自宅で被爆しました。鳴いていた蟬の声が全く聞こえなくなった当時の状況のほか、原爆の恐ろしさについて、実物資料を用いながらわかりやすくお話しいただくとともに、核兵器廃絶に向けた想いも語られました。



特別展

「SDGsとユニセフ ～子どもたちの命と健康と未来を守る～」

期 間:2025(令和7)年1月18日(土)～2月16日(日)

協 力:大阪ユニセフ協会

参加者:7,946名

開戦の日 平和祈念事業

「落語と平和 ～ピースおおさか平和寄席～」

日 時:2025(令和7)年12月7日(日) 午後2時～4時

出演者:桂春團治、桂梅團治、桂春之輔、桂咲之輔

参加者:125名

出前展示

①帰還者たちの記憶ミュージアム(平和祈念展示資料館[総務省委託])

期 間:2025(令和7)年4月22日(火)～6月29日(日)

内 容:戦後80年 平和祈念交流展
「大阪空襲と戦時下の暮らし モノが伝える戦争体験」を開催

②大阪府・市立図書館

大阪府立図書館、大阪市立中央図書館をはじめ、市内各地域図書館

③大阪市立総合生涯学習センター

期 間:2025(令和7)年8月5日(火)～8月17日(日)

内 容:写真パネル、実物資料の展示

④天王寺区役所

期 間:2025(令和7)年6月3日(火)～6月27日(金)

内 容:実物資料の展示

ほか各所にて実施。

上記以外にも、生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪、ウィークエンド・シネマ、親子まつりなども実施しました。



ピースおおさかの
キャラクター
「ピースバード」

展示紹介

「戦時中の食事（レプリカ）」

2階展示室には、すいとん、いもがゆ、ふかしいも、漬物のレプリカがあります。

戦争が長引くと、農村や漁村の働き手がなくなり、深刻な食糧難となりました。人々はわずかな米をおかゆにして食べたり、いもや小麦を練っただんごのすいとんを米の「代用食」として食べたりしました。

このコーナーでは、「戦時下の大阪の暮らし」をテーマに、日記や手紙、赤紙などの実物資料のほか、当時の服装や再現された戦時下の民家を展示し、民衆のくらしの様子を伝えます。



資料収集に ご協力ください

ピースおおさかでは、戦争と平和に関する資料の収集、保存、展示等を行っています。

後世に伝えていくために、資料収集へのご協力よろしくお願いいたします。

※資料によってはお受けできない場合もありますので、まずはお電話でお問い合わせください。